

松本さん、仙台大コーチ就任

仙台六大学野球

仙台六大学野球で3度の首位打者や4度の本塁打王に輝いた松本桃太郎さん(31)が今春、仙台大硬式野球部のコーチに就任した。母校を日本一にしたい。情熱全開の指導で選手たちと向き合っている。

春季リーグ中盤の4月末、宮城県角田市の仙台大第2グラウンドに大きな声が響き渡った。「投手の足元に打ち返すぐらいの低い打球を狙おう」。打撃練習する選手をつぶさに観察し、コミュニケーションを取る。

一方的に押し付けるような指導ではなく、選手と一緒に試行錯誤を重ねる。助言を求められたら、逆に質問して考えることを促す。「すぐ答えを示しても

かつて打撃タイトル総なめ

「経験や知識生かす」

成長しない。正解にたどり着けず行き詰まったときに初めて、自分が培ってきたことを伝える」。主力だけでなく、選手全員を横一線で見える。「可能性は無限。どこで化けるか分からない」と期待を込める。

北海道岩見沢市出身。北海道・北海高を経て仙台大に入学した。1年春に三塁手のレギュラーをつかみ、その秋に三冠王に輝いた。4年秋には現在も破られていないリーグ最多の1200安打をマークした。卒業後はホンド鈴鹿に進み、2年目の2018年ジャカルタ・アジア大会で銀メダルを獲得した。

プロの夢はかなわなかった。社会人3年目秋の大会直前、左太もも裏を肉離れ。これが最後のチャンスと懸けていた。24年11月、選手を引退。社業に専念した後、今年4月に仙台大職員に転職した。

大手自動車メーカーを辞めてまで戻ってきた背景には、強い母校愛があった。在学当時は春秋合わせて3度の優勝を経験した。昨秋、18年秋以来となる3位に衝撃を受けた。「また昔のように万年3位になるかもしれない。これまでの経験や知識を生かして力になりたい」。すぐに森本吉謙監督に訴えた。

チームは今季、残り2節で3位につける。復活への道は始まったばかりだ。(山本武志)



練習で打撃指導をする松本さん。4月、宮城県角田市